

国立大学協会創立70周年記念式典

未来志向の国立大学に向けて

2021年3月8日
中央教育審議会 会長
日本経済団体連合会 副会長
第一生命ホールディングス 取締役会長
渡 邊 光 一 郎



Dai-ichi Life
Holdings

戦後の高等教育改革の流れ



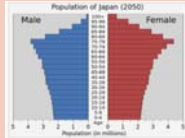
Dai-ichi Life
Holdings

1945-1951	戦後教育の再建	<ul style="list-style-type: none">国立学校設置法公布（49年）新制国立大学の発足（49年）国立大学協会設立（50年）
1952-1970	経済社会の発展に対応した教育改革	<ul style="list-style-type: none">中教審答申「大学教育の改善について（38答申）」（63年）
1971-1983	安定成長下の教育改革	<ul style="list-style-type: none">中教審答申「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的な施策について（46答申）」（71年）
1984-1999	「臨時教育審議会」以降の教育改革	<ul style="list-style-type: none">臨教審第1次～第4次答申（84～87年）大学審議会の創設（87年）大学設置基準の大綱化（91年）大学審答申「21世紀の大学像と今後の改革方策について」（98年）
2000-2005	「教育改革国民会議」以降の教育改革	<ul style="list-style-type: none">国立大学の法人化（04年）中教審答申「新時代の大学院教育」（05年）中教審答申「我が国の高等教育の将来像」（05年）
2006-2012	改正教育基本法に基づく教育改革	<ul style="list-style-type: none">教育基本法改正（06年）学校教育法改正（07年）大学の役割として「成果を広く社会に提供し、「社会の発展に寄与」することが明記中教審答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」（12年）
2013-2017	「教育再生」「教育立国」に向けた教育改革	<ul style="list-style-type: none">大学分科会審議まとめ「大学のがバナンス改革の推進について」（14年）3つのポリシー、SD義務化（17年）
2018-	Society5.0時代の到来に向けた教育改革	<ul style="list-style-type: none">国立大学協会「高等教育における国立大学の将来像」（18年）中教審答申「2040年に向けた高等教育グランドデザイン」（18年）

わが国の社会環境の変化と教育を巡る状況



少子・高齢化
人口減少



グローバル競争の激化
新型コロナ・パンデミック



急激な社会・産業
構造の変化
(Society5.0)



SDGs 持続可能な開発目標
OECD Learning Compass 2030
(Well-beingの実現)

人生100年時代

技術革新 (AI、IoT、ビッグデータ、ロボット)

地方創生

格差等

VUCA時代：Volatility (変動)、Uncertainty (不確実)、Complexity (複雑)、Ambiguity (曖昧)



DX、ニューノーマルを踏まえた新たな大学教育



時や場所に縛られない教育

オンライン/リモートとリアル(対面)
のハイブリッド化



リカレント教育含む、リモート教育の推進、常態化

運営・資金、授業内容・カリキュラム、評価の在り方、効果の検証等の検討



大学教育のグローバル化のさらなる推進

DXによるグローバル競争の激化、入学・卒業時期の多様化・複線化
留学形態の多様化、海外高等教育機関との多様な連携推進



地域の大学を核とする産官学金のネットワーク化

大学が地域におけるイノベーションエコシステムの中核を担う

2040年頃の社会変化

- SDGs ●Society5.0、第4次産業革命
- 人生100年時代 ●グローバル化 ●地方創生

高等教育機関の
教育研究体制

- 「多様性」と「柔軟性」の確保
- 多様な価値観を持つ多様な人材が集まることにより
新たな価値が創造される場

■多様な学生

- ・18歳、社会人、留学生 →リカレント教育や留学生交流の推進など

■多様な教員

- ・実務家、若手、女性、外国籍 →多様な教育研究活動を行う仕組みなど

■多様で柔軟な教育プログラム

- ・文理横断、学修の幅を広げる教育、ICTを活用した教育の促進など

■多様性を受け止める柔軟なガバナンス

- ・マネジメント機能や経営力の強化、大学等の連携・統合の促進

■大学の多様な「強み」の強化

- ・「強み」や「特色」を明確化し、更に伸長

(出所) 中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」より第一生命経済研究所作成

教育の質の保証と情報公開
-「学び」の質保証の再構築-

- 全学的な教学マネジメントの確立
- 学習成果の可視化と情報公開の推進

【教育の質保証システムの確立】

- 大学設置基準の見直し ●認証評価制度の充実

各高等教育機関の役割等
-多様な機関による多様な教育-

- 各学校種における特有の課題の検討
- 各高等教育機関間の流動性の向上と多様なキャリアパスの実現

高等教育機関の規模や配置
-全ての世代が学ぶ「知の基盤」-

- 高等教育機関への進学者数とそれを踏まえた規模
 - 「多様な価値観が集まるキャンパス」の実現
- 国公私役割
 - 歴史的経緯と、再整理された役割を踏まえた地域における高等教育の在り方を再整理し、高等教育の発展に国公私全体で取組む
 - 国立大学の役割と必要な分野・規模に関する一定の方向性を検討
- 地域における高等教育
 - 地域連携プラットフォームの構築



高等教育を支える投資 -コストの可視化とあらゆるセクターからの支援の拡充-

- 公的支援の充実が必要
- 財源の多様化

- 教育・研究コストの可視化
- 高等教育全体の社会的・経済的効果を社会へ提示

- 公的支援を含めた社会の負担への理解を促進
- 必要な投資を得られる機運の醸成

(出所) 中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」より第一生命経済研究所作成

教学マネジメント指針

2020年1月公表

学修者本位の教育への転換に向け教学マネジメントを確立

- I. 「三つの方針」を通じた学修目標の具体化
- II. 授業科目・教育課程の編成・実施
- III. 学修成果・教育成果の把握・可視化
- IV. 教学マネジメントを支える基盤
- V. 情報公表

質保証システム

2020年7月中教審大学分科会質保証システム部会設置

- 大学の自主性・自律性に基づく自己改善を促進
- 「社会に開かれた質保証」の実現を図る

大学ガバナンスコード

- 2020年3月国立大学法人ガバナンスコード公表
- 各私立大学団体も私立大学版ガバナンスコードを策定

国立大学法人の戦略的な経営実現に向けて

2020年12月とりまとめ公表

- 多様なステークホルダーを巻き込み、社会変革を駆動する真の経営体へ転換
- 中期目標・中期計画、評価、内部統制、会計制度・会計基準、先行投資財源の確保とその循環拡大、定員管理等の柔軟化、等について検討

地方創生に資する魅力ある地方大学の実現

2020年12月とりまとめ公表

- コロナ禍による急激なDX化をチャンスに、知的・人的リソースを地域経済活性化につなげる地方大学を実現

地方大学が目指すべき方向性

- ① **ニーズオリエンテッドな大学改革**
他大学との差別化、「選ばれる大学」を目指す
- ② **地域でのプレゼンス発揮**
質の高い人材育成、地域連携PFの活用等により民間や国公私を超えた大学間の連携・協働
- ③ **ガバナンス改革の実行**

国立大学改革を巡る課題

ガバナンス

- ◆ 学長のリーダーシップ強化
- ◆ 意思決定システムの透明化・明確化
- ◆ 機能強化の促進支援策

経営マネジメント

- ◆ 人事給与マネジメント
- ◆ 財務会計マネジメント
(財源の多様化)

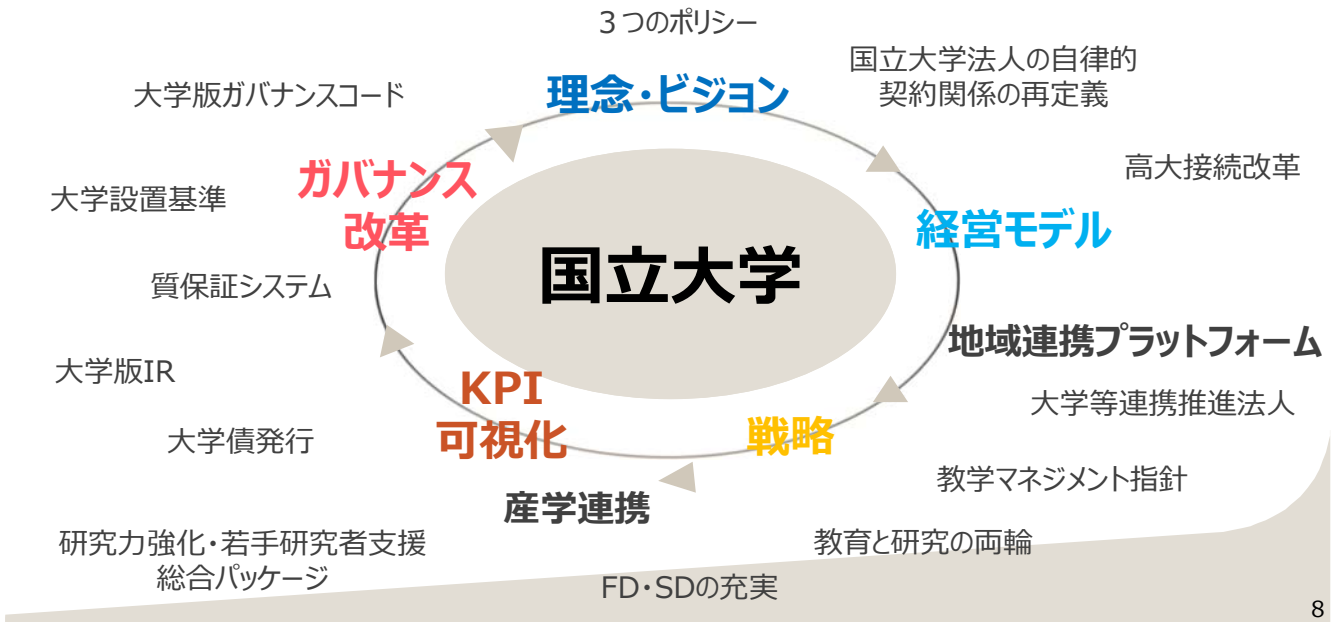
情報公開

- ◆ 教育研究面の情報公開
- ◆ 財務経営面の情報公開

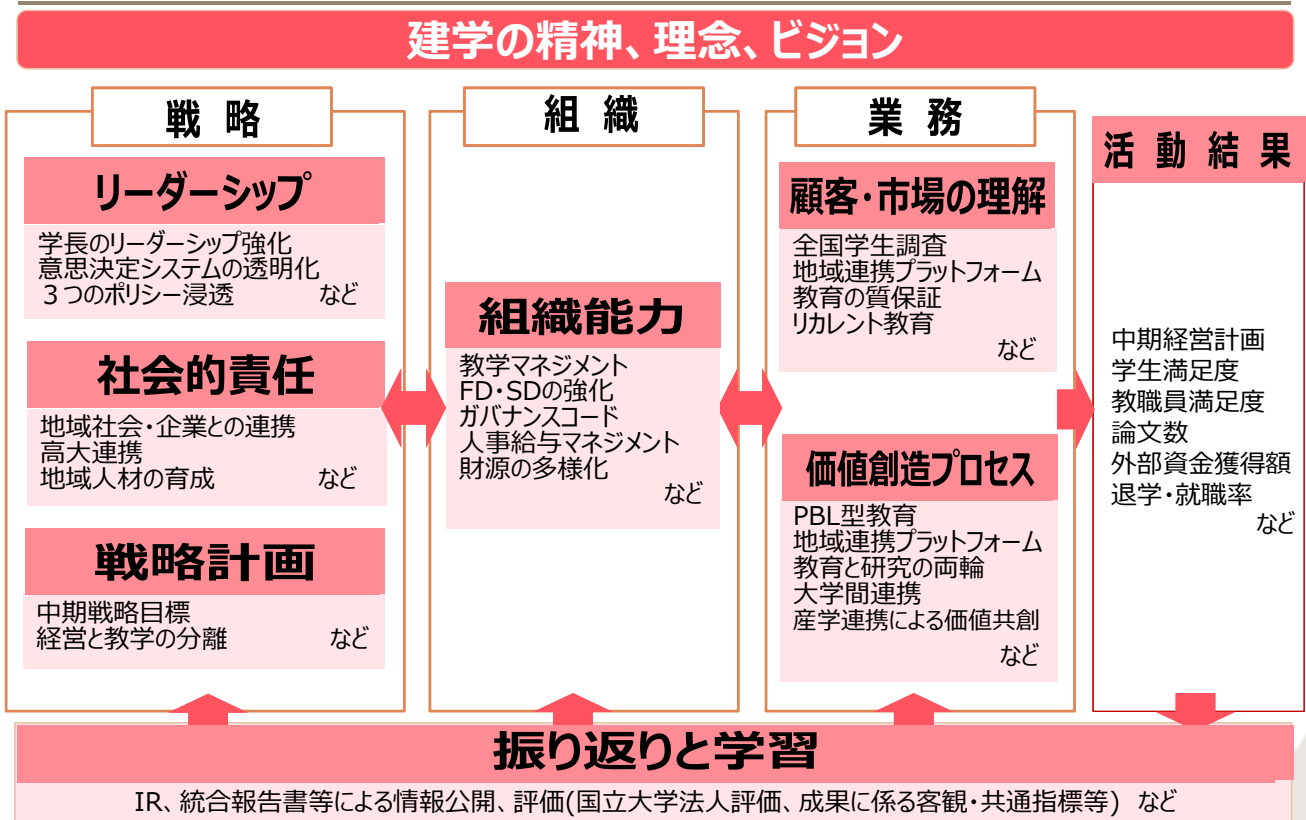
評価

- ◆ 国立大学法人評価
- ◆ 認証評価
- ◆ 重点支援評価
- ◆ 成果に係る客観・共通指標

- ・ グランドデザイン答申をベースに、2040年を見据えて求められる取組みは揃いつつあり、大学も様々な改革に着手している
- ・ これらのパーツを有機的に結び、一つのストーリーとして**大学の価値創造**につなげていくことが重要

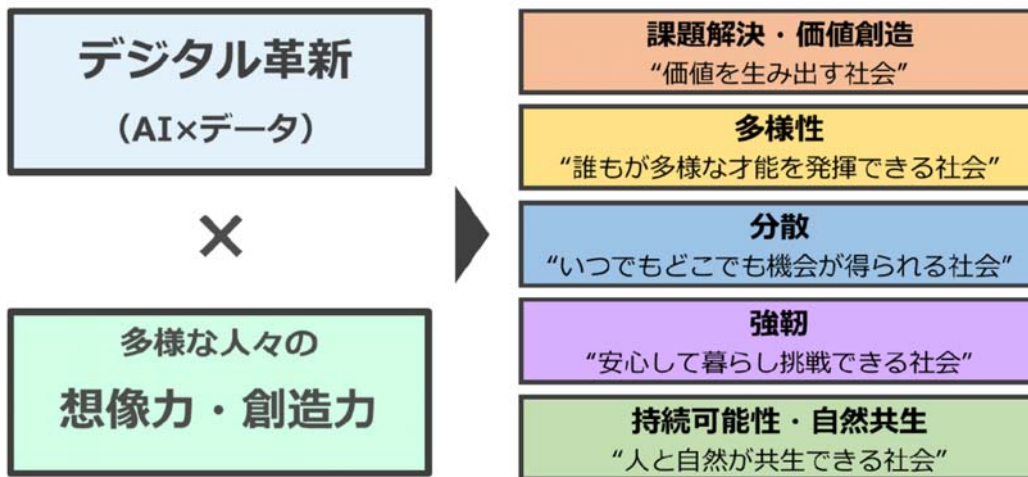


バリューチェーンの例



- 人類史上 5 番目の新たな社会「Society5.0」は、デジタル革新と多様な人々の二つのソウゾウ（想像・創造）力で作る、人間中心の課題解決・価値創造型の社会。

Society 5.0 創造社会



(出所) 経団連「Society5.0—ともに創造する未来—」(2018年11月13日)

SDGs (Sustainable Development Goals)

- 2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」で採択
- “誰ひとり取り残さない”を掲げ、17の目標と169のターゲットを設定



(出所) 国際連合広報センター

Society 5.0は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデル
さらには、国連で掲げられたSDGsの達成にも大いに貢献するもの



経団連はSDGsを支援しています。

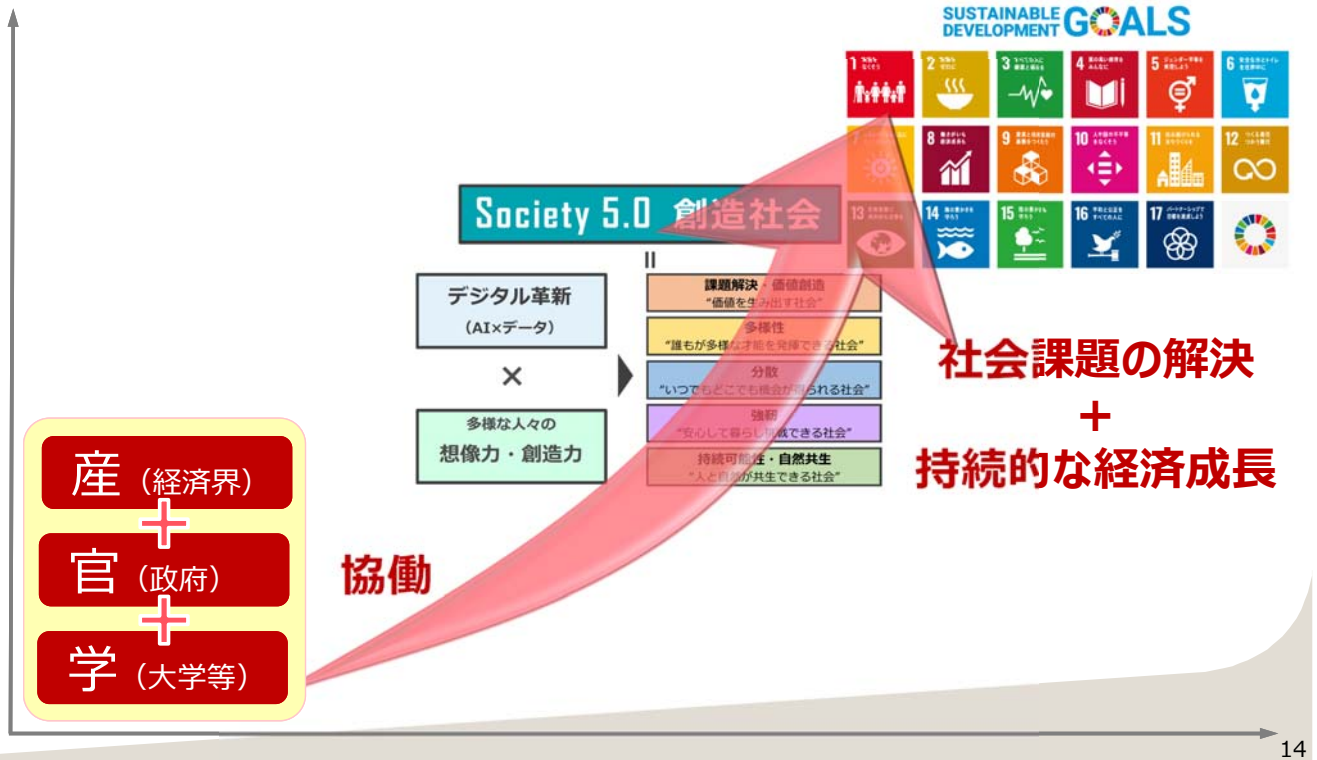
新成長戦略

2030年の未来像

多様なステークホルダーの英知を結集し、DXにより多様な価値を協創する
Society 5.0でサステイナブルな資本主義を確立



産・官・学が「Society5.0 for SDGs」の実現に向かって、ベクトルを合わせて協働することが重要



最後に

